

那覇港クルーズ旅客受入機能高度化計画作成業務 特定テーマ説明資料

特定テーマ a 検討会の運営と計画への反映について

＜着眼点＞

（１）多岐にわたる受入関係事業者等（約 20 者）の意見聴取・集約の手法

多くの受入関係事業者等（船社、船舶代理店、警備会社、バス・タクシー等の二次交通事業者、ランドオペレーター等の観光関係事業者、CIQ 機関（税関・出入国管理・検疫）等）から多様な意見を聴取・集約する手法について、どのように取り組むことを想定するか、提案を求める。

（２）意見を踏まえた実効性のある計画の作成

受入関係事業者等の利害関係を調整し、組合や受入関係事業者等が行うべき施策、事業を高度化計画に位置づけるためにどのように取り組むことを想定するか、提案を求める。

＜選定理由＞

本業務で作成する高度化計画は、クルーズ旅客の移動円滑化や利便性向上に資する組合及び受入関係事業者等による効果的な施策、事業を計画し、その実効性を持たすことが重要となる。そのため、約 20 者の受入関係事業者等との検討会を機能させ、効果的かつ実効性の伴う計画を作成するマネジメント能力を評価するために選定した。

特定テーマ b ハード・ソフト両面による高度化計画作成の取り組みについて

＜着眼点＞

（１）那覇クルーズターミナル（NCT）

埠頭用地の狭隘性も踏まえ、拡張ありきではなく、乗下船からターミナルビル、二次交通（タクシー、バス等）までの円滑な接続や、ターミナルビル内の混雑緩和に向け、効果的なハード・ソフト対策にどのように取り組むことを想定するか、提案を求める。

（２）第 2 クルーズパース（第 2CB）

連携船社のターミナルビル計画との整合性を踏まえ、クルーズ旅客の移動円滑化や利便性向上、二次交通（タクシー、バス等）との円滑な接続等に向け、効果的なハード・ソフト対策にどのように取り組むことを想定するか、提案を求める。

＜選定理由＞

NCT は、物理的な空間制約をふまえた既存ストックの有効活用が最大の課題となっており、費用対効果を意識しつつ、ハード・ソフト両面からのアプローチによる高度な空間マネジメント力が重要となる。

また、第 2CB は、連携船社のターミナルビル計画を踏まえて新たな施設を計画するものであり、乗下船から二次交通接続に至るまでのクルーズ旅客の動態を適切に考慮したハード・ソフト両面の構想力が重要となるため、これらを考慮して選定した。